

市議会議長選挙を通じて 変えたかったこと、 変わったこと

議会深層
レポート

議長に朝木直子、副議長に佐藤まさたか

▶暦の上では秋になりましたが、長く続く猛暑に体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。6月議会で行われた議長選挙について、少し詳しくご報告します。

▶現在の市議会議員の任期は2027年4月30日までの4年間。東村山市議会では、他の多くの議会と同様に折り返し時点で正副議長を選び直し、所属する委員会や他の役職なども交替することが長い間の慣例となってきました。

今回も6月議会初日に小町明夫議長（自民）と渡辺英子副議長（公明）が辞職し、それを受けて直ちに全24人による選挙を行いました。その結果、議長選挙は朝木直子議員に13票、石橋光明議員に11票で朝木議員が、副議長選挙は佐藤まさたか13票、小林美緒議員10票で私・佐藤が選ばれました

▶直後に開かれた代表者による会議では、新議長から、①4つの常任委員会の委員は前議長が各議員の意見を聴いて編成したものであることを尊重したい。②議会の内容について協議する議会運営委員会は、各会派（自

民、公明、共産、立憲、草の根）の代表と、会派に属さない議員も含めた構成に全面的に変更したいという考えが示されました。

これまでは委員長を務めるか、会派に属さなければ参加できなかった議会運営委員会でしたが、会派に属さない議員や1年生議員も分け隔てなく顔を合わせ、対等に話し合いながら議会運営のルールを話し合ったり決めたりする体制が、東村山市議会ですべて初めて誕生した瞬間でした。

▶東村山市議会では2001年に公明党の木村芳彦議員が就くまでは、議長はすべて自民党の議員が務めていました。私が初当選した2003年の選挙後の議長は当時議員だった渡部尚・現市長（自民）で、副議長は公明党の豊信雄議員でした。以後も、民主党所属の議員が副議長になったことはありますが、それ以外は自民党と公明党で正副議長をほぼ交替で担ってきました。

今回、議長選挙の結果が伝わった瞬間、市役所内が静まり返ったと聞きました。誰も予測しなかった事態だったと思われます。

▶では私は何のためにこの議長選挙に向けて動いたのか…。

まず議員24名中、自民（5）・公明（6）で11名と過半数を切った中、少数派が力を合わせることで、議員一人ひとりをより対等に扱う議会に変えられる千載一遇のチャンスだと考えました。

さらに、市役所職員やOBなど多くの人が「変わることはない」と信じ込んでいたものを一度変えることは、議会と行政との間に必要不可欠な“適度な距離と緊張感”をもたらすと考えました。

▶困難な社会課題が増える中、市長に高い能力が求められると同時に、市民の代表として議論し、決定する

佐藤 まさたか 市政レポート

第111号
2025年8月20日発行
【発行】ちゃんと変えよう！東村山

役割を担っているのは市議会であり、そのレベルが厳しく問われる時代が来ています。議員一人ひとりが市民の代表として知見を深め、難しい問題からも目をそらさず議論を尽くし、出した結論に責任を負う議会に変えたい。

朝木議員と私との長年の政治的な確執をご存知の方からは懸念の声も伺いますが、私たちが責任を果たすべきは、現在と未来の課題であり、過去のことを一旦横に置いてでも、まず自分自身が変わるべきと考えました。

▶一人でも多くの方に「変わってよかった」と実感いただけるよう、「公平、公正、民主的な議会運営に努める」と就任挨拶で述べた朝木議長と共に、多様な市民の声を反映させられる議会、信頼される議会へ、全力で職責を果たす覚悟です。

9月議会へ向け、少数派の声も大切に扱う議会づくりを加速させていくつもりですので、どうぞご注目ください。



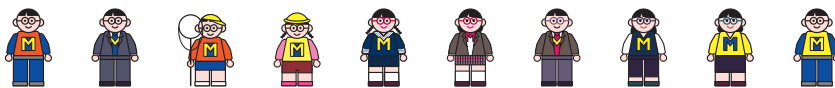
超党派
無所属

ただ一人、
初当選から22年間
政党や特定の団体の
支援を一切受けない
完全無所属の
市議会議員



副議長就任のあいさつに立つ佐藤まさたか
後方左は朝木新議長

東村山市では初! 「こどもの権利シンポジウム」が開かれました



8月2日（土）午後、サンパルネで東村山市主催の「こどもの権利シンポジウム」が開かれました。市長から「東村山市こども計画」を示して「子ども・若者の権利を保障するための取り組みを進める」と説明があり、「NPO法人わかもののまち」代表理事の土肥潤也さんによる基調講演、パネルディスカッションと続きました。

市内で子どもたちと関わる方々が大勢ご参加くださっており、会場はいっぱい。子どもを一人の権利の主体として尊重し、共にまちづくりをしていこうというキックオフとなりました。

機会をとらえて議会ですっと前から提起を続けて来たもののなかなか進まなかった課題でしたが、今回、旧知の土肥さんが来てくださり、ようやくスタートラインに立てたことは感慨深いものがありました。

【土肥さんのお話のポイント】

- 子ども・若者が「保護される対象」から「主体」に転換していくという変化
- 子どもに変わることを求める法律ではなく、私たち大人が変わらなければいけない法律
- 子どもを優先するというだけでなく、大人が一生懸命考える社会から、子どもと一緒に考える社会にしていこうということ



静岡から来てくださった土肥さん。
どうもありがとうございました。

■9月定例議会の予定

9月1日(月)初日・本会議（市長所信表明・議案審議等）
9月4日(木)5日(金)8日(月)一般質問
9月10日(水)～17日(水)常任委員会
9月19日(金)～26日(金)決算特別委員会(5日間)
10月3日(金)最終日・本会議（委員長報告・議案審議等）
※議会最終日に向けた請願・陳情は9月26日17時までにご提出を。



9月定例議会直前 情報共有の「まさたかミーティング」へ お出かけください!

■年4回の定例議会直前、議案や一般質問等が出揃ったタイミングでは「予告」中心に、定例議会後は「報告」中心に22年間続けています。私を応援くださる方に限らず誰にも最新情報を共有いただきたいのでSNS等で広く呼びかけ、オンライン開催も続けています。

■会場へは直接お出かけください。Zoomの入口も書いておきます。予約不要。どうぞ気軽にご参加ください。



① 朝まさたか
@廻田公民館・第2集会室
8月30日(土) 10時～11時半



② 午後まさたか
@中央公民館・第1集会室
8月30日(土) 16時～17時半



③ 夜まさたか@オンライン
8月31日(日) 20時～21時半

■夜まさたかZoom入口:

スマホやパソコンのZoomアプリ(またはブラウザのZoomページ)から、ミーティングIDとパスコードを入力して参加してください。右のQRコードからも参加できます。

ミーティングID: 832 7535 2633
パスコード: 162233



9月定例議会の直前情報をお届けします。
率直なご意見やご提案をお聞かせください!



マニフェスト
大賞
受賞

佐藤まさたか

1963年日野市生まれ・慶應義塾大学経済学部卒・中高社会科教員免許。大学卒業後、一貫して教育や保育の現場に身を置き、2003年に東村山市議初当選。政党や特定の団体の支援を受けない超党派無所属市議として6期目。NPO法人多摩住民自治研究所副理事長/ローカル・マニフェスト推進連盟/市民と議員の条約づくり交流会議等の運営委員/日本シティズンシップ教育フォーラム/子どもの貧困対策センター「あすのぼ」/自治体学会等の会員/全国の優れた政策実践に贈られる「マニフェスト大賞」で最優秀賞1回、優秀賞2回受賞。

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)配布やポスティングを行っていますので、連続してお届けできなかったり、発行日から時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。

市政や議会へのご意見、ご相談など、 どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。
「佐藤まさたか」で検索してみてください!
メールアドレス:
0627gachapin@gmail.com

東村山市廻田町2-21-13
TEL. 090-6018-3572

※電話よりもメールやSNSの方が確実です

